



おおまつ 重 和 大松しげかず県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411



意欲ある若い農業者の育成を!

旭市特集

2月県議会予算委員会

新生・旭市から県議会へ活躍の場を飛躍させ、昨年から県議会農林水産常任委員会の副委員長に就任している大松重和(おおまつ・しげかず)県議は、新年度予算案を審議する2月定例会の予算委員会に登壇し、農業問題に絞って県当局の考えを質問しました。この中で、大松県議は民主党がマニ

フェストに掲げた米農家への戸別所得補償制度について、全国一律で農家の規模や生産性に差がないことに対し、個人や地域の多様性、独自性を無視しており、民主主義の正しい在り方ではないと厳しく批判し、議場の注目を集めました。大松県議は、意欲ある若い農業者の育成こそが真の千葉県農業の担い手として、新規就農者の確保対策などで県の姿勢をただし

ました。大松県議の主な質疑を1、2面で特集します。



予算委員会で質問する大松重和県議

新規就農者確保対策求め

による営農開始までの支援など、幅広い取り組みを行っている。

大松委員 農業産出額県下第1位、漁獲量第2位の旭市選出、自由民主党の大松重和です。私は、やはり私のフィールドである農業問題、特に担い手問題を中心に質問いたします。千葉県の農家の皆さんは、頑張っていると思います。やる気のある農家を応援するのが、行政の務めですから、今後の千葉県農業を発展させていくためにも、県としてぜひ、意欲のある若い農業者の確保と育成を図っていただきたいと思っています。

そこで伺います。新規就農者確保のため、県はどのような対策を実施していくのか、具体的に示してもらいたい。

農林水産部長 県は、将来にわたって農業生産の維持発展を図るため、新規就農者の確保、育成は大変重要な課題だと認識しています。そこで、年3回行う就農相談会や県内13カ所に設置した相談センターで、随時個別相談を行うほか、農業大学校における就農希望者に対する3日間の体験研修や、6カ月間の技術習得など、段階に応じた研修、指導農業者など先進的農家で6カ月から1年間、マンツーマンで行う実践研修、各地域の農林振興センター、市町村、関係団体等の連携

大松委員 新に就農した後も、農業で定着していくには支援が必要だが、県はどのように支援しているのか。

農林水産部長 新規就農者が農業に定着していくために、県は県内各地の農林振興センターで就農後3年間、定着化を支援する技術・経営向上セミナーを実施

施しています。また、就農後間もない青年就農者の仲間づくりを促進し、新技術に関する情報交換や経営力向上のための勉強会の開催など、青年農業者の活動を支援し、意欲的に農業が続けられるよう支援を行っています。

県政に一直線!

県政や地元・旭市のことはお気軽にご相談ください。

大松しげかず 県議事務所
〒289-2505 旭市鎌数174-2
TEL0479(62)7571 FAX0479(63)9300

大松しげかず県議 PROFILE

略歴

- 昭和33年 旭市鎌数生まれ(9月23日) 市立旭二中、県立銚子商業高校卒
- 昭和53年 養豚業/旭市農協青年部委員長/旭市立共和小PTA会長/県養豚協会理事/旭青年会議所会員
- 平成19年 千葉県議会初当選

現職

- 自民党県連 総務会委員
- 県議会 農林水産常任委員会 副委員長
- 千葉県 卸売市場審議会委員
- 旭ロータリークラブ会員/海匠農業共済組合理事

自己紹介

- 生活信条 初志貫徹
- 趣味 ジョギング、読書(歴史)
- 家族 父母、妻と一男二女の7人家族

戸別所得補償は農業衰退のもと!

不況期の雇用受け皿に農業分野を

大松委員 この春卒業する県内高校生の就職内定状況も大変厳しいようです。雇用情勢が好転するには、やはり景気が回復しなければなりません。

農の選択肢として大いに期待できるのではないかと思います。県として、農業における雇用促進にどう取り組んでいるのか。

そこで、不況期における雇用の受け皿として、農業分野は有望ではないかと思えます。特に最近では、インターネットで求人している例もあるようですが、農業法人への就職というものが就

ど、数年後のスムーズな独立就農を支援するモデル事業の実施、千葉県農業会議との連携による「農の雇用事業」を活用した就業促進などに取り組んでいるところです。

経営感覚のある農家育成

大松委員 次に既存の農家に対する支援策をお尋ねします。これまでの農政の基本は、農業を産業として成り立たせ、他の産業と同様に競争力のある産業とするため、規模拡大を図り、生産性や効率性の高い経営をしようとする意欲ある農家を支援してきました。私は、これは正しい方向性だと思っています。しかし、新政権が導入する戸別所得補償制度は、そうした流れに逆行し、わが国農業を衰退させていくことになると思

います。県としては、経営感覚を身につけた意欲ある農業者を育成、支援していく必要があると思います。県は、既存農家の経営安定や規模拡大のため、どのような対策を実施しているのか。

農林水産部長 既存の農業者への支援は、個別経営相談や各種研修を行っている。また、さらなる経営発展を目指し、規模拡大や販路拡大など、生産力、販売力向上を志向する農業経営者には、昨年度より開始

した「アグリトッププランナー育成支援事業」により、年間販売額3千万円以上の企業の経営体の育成支援を行っています。

さらに、経営の規模拡大に向けた農地の利用集積や機械化、施設の導入を支援しているところです。

大松委員 具体的にはどのような取り組みをしているのか。

農林水産部長 経営向上に係る研修会の開催、中小企業診断士、マーケティングの専門家等による個別支

援、商談会への参加による販路拡大やブランド化などの取り組みへの助成や支援を実施しています。

経営体育成交付金を創設

大松委員 平成22年度も地域担い手経営基盤強化総合対策実験事業は継続実施されるのか。

大松委員 担当手支援課長 同事業は、各種ハード事業とともに「経営体育成交付金」に統合され、平成22年度もほぼ同様の内容で実施される見込みです。

大松委員 「経営体育成交付金事業」とは、どのような事業か。

担当手支援課長 これまでの担い手に対する支援事業は、認定農業者、集落営農、新規就農者といった担い手のタイプごとに単独の事業として実施してきました。新たに創設される「経営体育成交付金事業」は、これらの経営体に対する機械・施設等のハード事業をメニュー化し、市町村が策定するマスタープランに基

アクションサポート事業

大松委員 担当手アクションサポート事業の実施状況はどうか。

大松委員 担当手支援課長 鉾田市、旭市、匝瑳市の3つの地域協議会で、認定農業者へ誘導するためダイレクトメー

ル等による情報提供、女性の担い手育成のための家族経営協定の推進、経営の多角化のための商談会の開催、消費・流通・需要実態把握の視察研修等を実施してきたところです。

大松委員 同事業を実施している地域では、補助金が廃止されて困っています。県として、何らかの支援をすべきではないか。

担当手支援課長 県は、地域の担い手育成総合支援

協議会が、担い手確保に結びつくような活動を展開できるよう、検討してまいります。

森田知事らとブラジル訪問

大松県議は、4月30日から5月9日まで、森田健作知事や酒井茂英県議会議長らと一緒に、米国とブラジルを訪問しました。

ブラジルでは、千葉県人会会館の竣工を記念した式典に出席し、ブラジル移民やその二世、三世たちと交流を深めました。5月1日には、サンパウロ市から130キロ郊外の高梨一男さん経営の蘭農場を訪問しま

した。館山市から移民としてブラジルに渡った高梨さんの農園では250人の作業員を雇用し、50万鉢の蘭を栽培していました。また、5月4日には、同じくサンパウロ市郊外の井野一彦さんの養鶏場も訪問し、200ヘクタールの広大な農場で100万羽の鶏を飼育する大規模経営を視察しました。

旭市特集 ○2月県議会予算委員会
さわやか政治で
暮らしの夢づくり
大松しげかず 和議



森田知事らを前に記念式典であいさつする大松県議